

完了検査の実施方法について ～新２号建築物～

完了検査は、対象建築物の工事が、確認に要した図書のとおりに実施されたものであるかを確認するため、各種の検査結果報告書、工事写真等の確認を行う書類検査及び目視、簡易な計測機器等による測定、または建築物の部分の動作確認等により実施します。

施工者及び工事監理者が作成する品質管理記録や施工結果報告書等を活用し、設計者・工事監理者等へのヒアリングにより検査を実施しますので、下記を参考に完了検査を受ける準備をお願いいたします。

Ⅰ 書類検査

規則別記第１９号様式第四面の工事監理の状況を基に、設計者や工事監理者などへの聞き取りや工事関係書類及び工事写真等により、適正に工事監理が行われているかを確認します。

■完了検査時に現地に用意しておく書類

書類		※備考
1	各種品質管理記録等	敷地の高さ・形状、支持地盤等
2	各種自主検査記録等	主要構造部等の接合部、耐力壁、基礎等
3	各種納品書、納品仕様書、品質証明書	コンクリート、鉄筋、木材、その他建築材料等
4	工事写真（完了検査時に現地で直接確認できない部分）	工事写真リスト参照
5	その他施工関連図書	

※対象の部位等は「検査時確認書類一覧」を参考にしてください。

■工事写真リスト

対象		写真の部分
材料		構造耐力上主要な部分の材料のラベル、梱包など 鉄筋、コンクリート、柱、はり、筋かい、耐力面材、土台等木材、接合金物・接合具
基礎	地業後	支持地盤の状況
	コンクリート打設前	配筋の状況（底盤、立上り、開口補強、配管用スリーブ等） / アンカーボルト（ホールダウン用、土台用）の設置状況 / (埋め込み長さ、フック) / 型枠の施工状況（各部の寸法、立上り型枠補強）
	コンクリート打設後	脱型時期の記録 ジャンカ、コールドジョイント等の有無
木造の部分		防腐防蟻処理の範囲 / 柱、筋かい、耐力面材、火打材、桁行筋かい等構造材の配置 接合金物の配置：柱頭・柱脚、筋かい端部、火打、土台 / 接合部に応じた接合具の種類、本数 耐力面材に用いられる接合具の種類、間隔
屋根		瓦等、屋根ふき材の留付状況
大臣認定品		耐力壁、準耐力壁等
省エネ	断熱材等	種類、厚さ、施工状況
	構造熱橋部	断熱補強等の仕様、範囲
	設備	換気設備の施工状況（ダクト等）

Ⅱ 現場検査

現場検査の方法については、指針告示（平 19 国交告第 835 号）に示されているとおり、確認に要した図書と、施工の状況が整合していることを確認します。

仕様表等に記載された内容のうち、現場検査で確認できる項目について、検査を行います。構造関係規定や省エネ適合については、完了検査時に、現場検査によっては多くの事項について確認することが困難であるため、品質管理書類、工事写真等や設計者、工事監理者へのヒアリング等により確認することになります。